

DATA

家族構成：建築主＋母
竣工：2019年4月 構造：木造軸組工法
延床面積：99.37㎡(30.05坪) 1F 99.37㎡(30.05坪)
設計・施工：株式会社 田村建設
※建築主様のご要望により平面図は省きます。

この家を建てた企業の情報は P172

Kさんとお母様は長年暮らしていた愛着のある家を、木の香り漂う平屋の和風住宅に建て替えました。すでに2年の月日が経過し、何不自由のない快適な日々を送っています。「じっくり取り組みました」とKさんは家づくりを振り返ります。和風建築を手掛ける工務店にいくつも足を運び、たどり着いたのは品格のある木の家を建築する地元の工務店でした。そこからプランニングに1年以上を費やし、暮らしやすさを優先した家を完成させたのです。

コテあとの残る優しい土佐漆喰の壁に同調する床や天井、壁に張った無垢材はほんのり赤みを帯び、新築時とはひと味違った趣が得られます。「床の肌触りが心地よくて冬でも素足で過ごしています」(Kさん)。



1. リンかき落としの外壁と化粧垂木が調和するK邸の外観。縁側の踏み台には三波石を置いた。 2. 唐松の床や腰壁、天井に檜を張ったKさんの個室。「木に囲まれて落ち着きます」(Kさん)。 3. 障子格子から優しい光が入るお母様の部屋。旧家で愛用していた収納棚が相性良く備わっている。 4. 障子戸を配置した意匠性を感じさせるトイレ。腰壁、手洗いカウンターまで木曾檜でそろえた。 5. 続き間に和室を併設したダイニング・キッチンで多くの時間を過ごすお母様。「対面式で使いやすいです」。 6. 居間と客間を兼ねた心安らぐ和室。床の間には紫檀の床柱やタガヤサンの落とし掛けなどの銘木を配した。

和風建築の美意識を堪能できる玄関ホール。木目に特徴がある杉の根柢板を配した格天井、落とし掛けには杉のサビ丸太、腰板に屋久杉、土間は御影石をあしらった。

玄関に見る和の様式美
「適材適所」に樹種を配した家

No. 28

株式会社 田村建設

🏠 前橋市 K邸